

今後の進め方について

国土交通省 都市局
令和2年9月

	テーマ	ポイント（案）
第1回 (R2.6.26)	市街地復興事業の10年	<ul style="list-style-type: none"> ・住まいの再建への貢献 ・まちの再生への貢献 ・現在の取組み
第2回 (R2.9.11)	被災者意向等と事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・変化する被災者意向等の的確な把握方法 ・被災者意向等と事業計画のすり合わせ
第3回 (R2.11)	市街地復興事業のあり方検証	<ul style="list-style-type: none"> ・各事業の特性や組合せ、運用方法等の分析 ・指摘されている個別課題の要因分析 ・市街地復興事業の望ましい活用方策
第4回 (R2.12)	今後の津波災害（南海トラフ地震等）への教訓	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少下での復興のあり方 ・人の復興とまちの復興のバランス ・事前復興の重要性 ・事後のマネジメントの重要性 等
第5回 (R3.2)	復興まちづくりガイダンス案	

テーマ	ポイント	意見
被災者意向等と事業計画	変化する被災者意向等の的確な把握方法	<ul style="list-style-type: none"> ・意向変化を前提とした意向把握の方法論（将来のカタチ(ハード・ソフト両面)を示す等） ・合意形成とスピード感はトレードオフ。どうバランスをとるか。
	被災者意向等と事業計画のすり合わせ	<ul style="list-style-type: none"> ・事業途中で地区内再建しない選択をした理由の分析が必要 ・将来のまちのあり方を考えた住民意向をマネジメントする仕組みが必要
市街地復興事業のあり方	各事業の特性や組合せ、運用方法等の分析	<ul style="list-style-type: none"> ・事業手法による区分だけでなく事業の目指す目的によっても類型化が必要 ・市街地復興事業に加え、まちづくり以外の復興事業との連携も重要
	各事業における個別課題の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・防集移転元地（災害危険区域）の積極的放置も含めた検討 ・区画整理による未利用地の換地の合理性
	市街地復興事業の活用方策	<ul style="list-style-type: none"> ・各種事業制度が十分だったか （被災地がやりたかった事に対し十分だったか、手段がありすぎて目指すべき姿の絞り込みが難しくなったことはなかったか逆に過度な要求を抑制する仕組みがあるとよいのでは） ・被災者からすれば長期となる事業期間をどう改善すべきか
今後の津波災害への教訓	事前復興の重要性	<ul style="list-style-type: none"> ・被災前から「目指すべき復興」「目指すべき市街地の姿」を検討しておくことが重要 ・事前復興は仮に災害が無くとも、なお地域の将来として良いことであるべき。 ・10年、20年後を見据え、災害リスクも見込んだ立地適正化計画の活用
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・次の災害、地域の将来を見据えた課題や新たな仕組みを議論 ・失敗もしながらそれを修正して進めていくという視点 ・土地のもつポテンシャルを図る数的指標をもって都市計画制度の運用を考える必要
計画そのものの検証	時代の先取り、未来への投資	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとの復興、被災者救済の中にあっても時代の先取り、未来への投資の必要性
	仮設のまちのあり方	<ul style="list-style-type: none"> ・完成したまち以前にあった仮設のまち自体をどう考えるか
	高齢化・人口減少下での復興のあり方	<ul style="list-style-type: none"> ・各自治体でフルスペックの復旧が行われたが復興後の維持管理の問題を抱えることに ・「被災したらもはや復興できない」時代も危惧される中、現行制度で十分なのか ・地区外から人を呼び込む工夫・コミュニティのリーダー不足への対応を考える必要
	まちづくりと防潮堤	<ul style="list-style-type: none"> ・防潮堤は海岸政策側に加え、まちづくり側からの議論も重要。どうオーソライズするか。

復興まちづくりガイドランスの改訂イメージ (案)

第1回検証委員会における意見をもとに整理した論点

テーマ	ポイント
被災者意向 等と事業計 画	変化する被災者意向等の的確な把握方法
	被災者意向等と事業計画のすり合わせ
市街地復興事業 のあり方	各事業の特性や組合せ、運用方法等の分析
	各事業における個別課題の検討
	市街地復興事業の活用方策
今後の津波 災害への教 訓	事前復興の重要性
	その他
計画そのもの の検証	時代の先取り、未来への投資
	仮設のまちのあり方
	高齢化・人口減少下での復興のあり方
	まちづくりと防潮堤

『(改訂)津波被害からの復興まちづくりガイドランス』(案)

課題と教訓の項目(案) ※H28.5ガイドランスの課題と教訓の項目を一部再編したイメージ
(1) 復興まちづくりを取り巻く環境
(2) 復興計画・復興まちづくり計画の策定
(3) 住民・事業者の意向把握
(4) 多様な関係機関を含む復興まちづくりのプロセスの確立
(5) 事業手法の検証
(6) 地域生活を支える産業の再建支援
(7) 平時からの復興まちづくりを見据えた対応 【災害前／事前復興】
(8) その他

注) 黒文字:H28.5ガイドランスの項目 青文字:追加再編した項目